

黒田清隆 くろだ せいりゅう 政治家。天保十一年十月十六日薩摩國生れ。明治二
 十一年八月二十一日歿（八四〇一九〇）。通稱く介。號初草。戊辰役は
 從軍、特に五稜郭戦で功きとして、敵將榎本武揚の助命を盡力。明治二
 年開拓次官、七年參議兼開拓長官となり屯田兵創設。十年西南役には
 征討參軍。十四年開拓使官有物拂下專任と世の批判を浴びる。二十一
 年内閣總理大臣と、翌年條約改正に失敗して辭任。その後渡瀆相、極密
 院議長など。伯爵。

文獻 『黒田清隆の書翰』（昭和七年四月七日謄寫・岸川會）『岸川會資
 料』、井里新太郎著『黒田清隆―埋れたる明治の礎石』（昭和四十
 年四月一日北海道・みやま書房）等。

